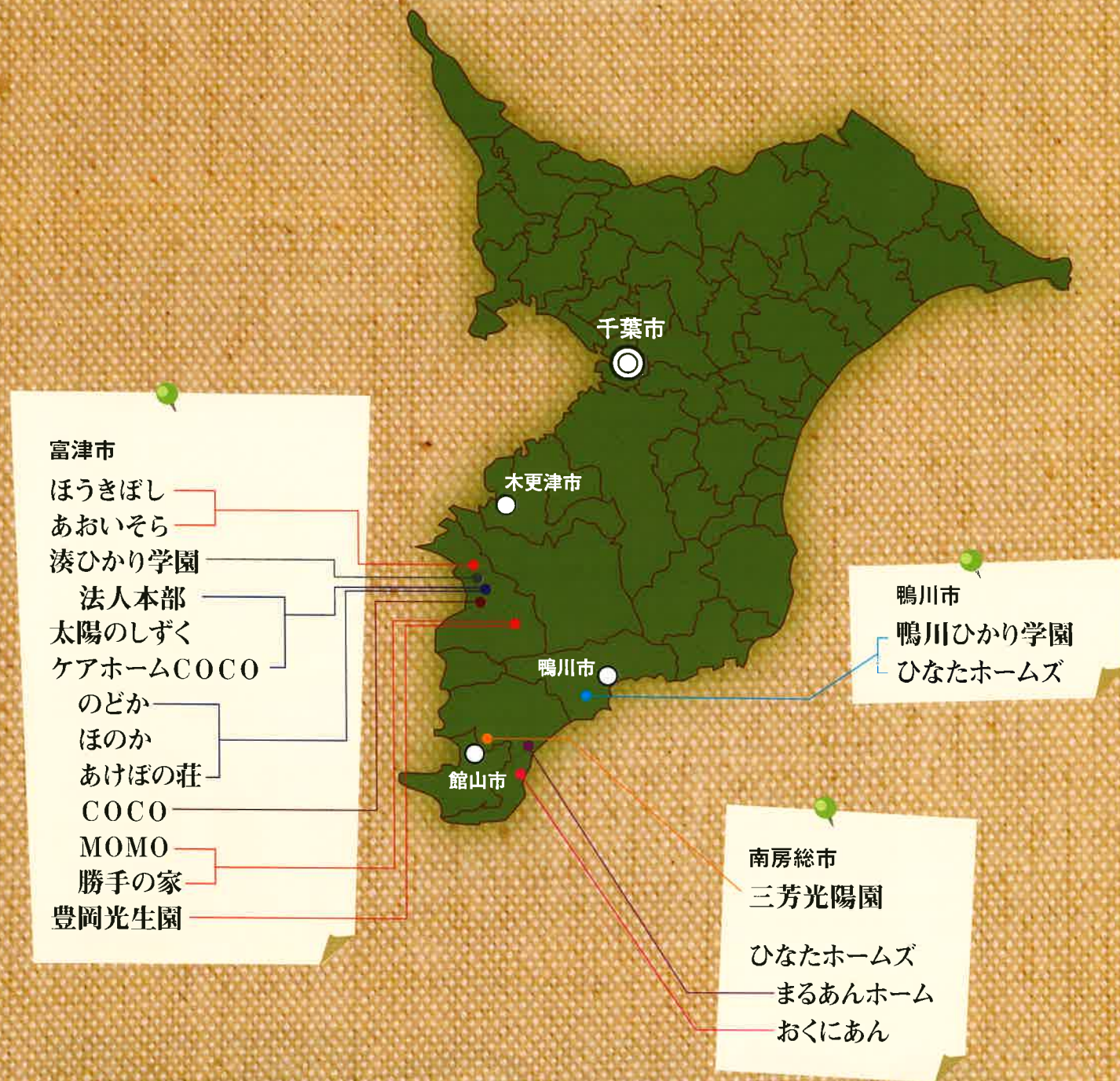


## 各施設所在地



支え合い、助け合い、共に生きる



薄光:夜明け前の闇の中に、うっすら明るくなっていく光

## 社会福祉法人 薄光会

〒299-1607 千葉県富津市湊1070-3  
 TEL 0439-67-3711  
 FAX 0439-67-3722  
<http://hakukou-kai.or.jp/>  
 E-mail:hakukou@hakukou-kai.or.jp

社会福祉法人 薄光会



# 障がいをお持ちの方、ご高齢の方、それぞれのライフステージに沿った支援を目指します。

## 【社会福祉法人薄光会基本理念】

1. わたしたち薄光会は、障碍あるいは高齢ゆえに様々な困難を抱え援助を必要としている人々、そしてその保護者・家族ならびに後見人と、援助を担う職員たちが、共に生きるために協働し、未来を切り開いていくことを目的とした人間集団である。
2. 困難の軽減や解決は、困難を抱える当事者本人の「願い」に裏打ちされていなければならない。保護者・家族・後見人、ならびに職員たちは、その「願い」の優れた発掘者でなければならない。また、困難を切り開いていくための先導者であり、当事者の「生きる力」をささえる支援者でなければならない。
3. 一つの困難の解決は、より大きい困難を抱えた者に検証される。重度者、重症者からの視点は、より深い解決のための方策や成果をもたらす。わたしたち薄光会は、より大きい困難を抱えた者、重度者、重症者を優先することを宣言する。
4. 未来を切り開いていくためには、多くの人々の力が必要である。広く地域の人々に呼びかけ、仲間を増やし、共に行動して、多くの人々がより良い生活を享受できるよう、常に努力・研鑽することを、ここに誓おう。
5. 社会は決して他にあらず。わたしたちの仲間の集いが新たな社会の第1歩と自覚し、様々な壁を取り払い、分け入って、成熟した社会を築いていこう。

### 豊岡光生園

富津市豊岡3535-1



- 施設入所支援事業 定員40名
- 生活介護事業 定員40名
- 短期入所事業 定員10名
- 日中一時支援事業 定員10名

### 鴨川ひかり学園

鴨川市代1297



- 生活介護事業 定員40名
- 日中一時支援事業 定員7名

### 三芳光陽園

南房総市上堀280



- 介護老人福祉施設 定員57名
- 短期入所生活介護事業 定員9名
- 通所介護事業 定員25名
- 居宅介護支援事業
- 南房総市委託事業
- 高年齢等「食」の自立支援事業
- 高年齢者生活管理指導短期宿泊事業

### 湊ひかり学園

富津市湊934-18



- 生活介護事業 定員20名
- 日中一時支援事業 定員10名
- 地域活動支援センター 定員20名
- 放課後等デイサービス事業 定員10名

### 太陽(ひ)のしずく

富津市湊1070-3



- 生活介護事業 定員35名
- 日中一時支援事業 定員3名
- 放課後等デイサービス事業 定員10名

### あおいそら

富津市佐貫255



- 多機能型 定員20名 (生活介護事業14名) (自立訓練(生活訓練)事業6名)
- 日中一時支援事業 定員3名

### 【薄光会沿革】

- 昭和51年6月 千葉県内在住の重度知的障害者の親達で、成人施設を作る会を発足させる。
- 昭和54年10月 社会福祉法人の認可を得る。
- 昭和55年7月 (財)日本船舶振興会、千葉県その他の助成により、知的障害者更生施設「豊岡光生園」定員40名を建設し開園する。
- 昭和60年3月 (財)日本船舶振興会、千葉県その他の助成により豊岡光生園を増設し、定員60名とする。
- 平成2年6月 (財)日本船舶振興会、千葉県その他の助成により知的障害老人と痴呆老人のための特別養護老人ホーム「三芳光陽園」を建設し、定員50名、ショートステイ4名で開園する。
- 平成6年4月 特別養護老人ホーム「三芳光陽園」デイサービス事業を開始する。
- 平成6年12月 三芳村徳修院に薄光会の墓所を整備する。
- 平成8年10月 国及び千葉県等の助成により知的障害者通所更生施設「鴨川ひかり学園」を建設し、定員30名で開園する。
- 平成16年4月 国及び千葉県等の助成により知的障害者通所更生施設「湊ひかり学園」および「デイサービスセンター湊ひかり学園」を建設し、「湊ひかり学園」定員20名、「デイサービスセンター湊ひかり学園」定員15名で開園する。
- 平成17年4月 デイサービスセンター湊ひかり学園において、児童デイサービスを定員10名で開始する。
- 平成18年10月 デイサービスセンター湊ひかり学園から地域活動支援センターへ移行する。
- 平成18年12月 障害者の地域での生活を支援するため、千葉県からの助成により富津市海良に共同生活介護事業所を開設し、ケアホーム「COCO」を定員6名で開設する。
- 平成19年3月 日本財団からの助成により三芳光陽園の改造、改修を行う。
- 平成19年12月 富津市豊岡の職員寮を改造し、ケアホーム「MOMO」を定員6名で開設する。
- 平成20年4月 千葉県の補助金をいただき、富津市湊に自立生活訓練棟「のどか」を開設し、定員5名で重度知的障害者の自立生活訓練を始める。
- 平成21年1月 千葉県の補助をいただき、豊岡光生園に作業棟「Try & Dream 上郷」を建設する。
- 平成21年4月 旧東京電力湊営業所を賃借し、生活介護事業所「太陽(ひ)のしずく」を開設する。あわせて、法人本部機能も移転する。自立生活訓練事業を終了し、ケアホーム「のどか」定員6名で開設する。ケアホーム「勝手の家」定員4名、「ほのか」定員6名、「あけぼの荘」定員6名を開設し、ケアホーム6棟体制となる。相談支援事業所「相談支援センター天羽」を開設し、富津市より相談支援事業の委託を受ける。
- 平成21年7月 豊岡光生園改築改造工事が着工する。
- 平成24年12月 安房圏域の共同生活介護事業所「ひなたホームズ」が県に認可され、南房総市千倉町に「おくにあん」定員4名で開設する。
- 平成25年5月 鴨川ひかり学園生活介護事業を定員40名に、太陽のしずく生活介護事業を定員35名に増員する。
- 平成25年12月 豊岡光生園改築改造工事が完了し、全室個室7ユニットの事業所として竣工する。
- 平成26年4月 太陽(ひ)のしずくにおいて放課後等デイサービス「チームどろん子」を定員10名で開始する。湊ひかり学園の「クレヨン」と合わせて2事業所となる。
- 平成28年4月 ひなたホームズ2棟目「まるあんホーム」を南房総市安馬谷に定員5名で開設する。
- 令和2年4月 相談支援センター天羽の名称を「ほうきぼし」に変更する。
- 令和2年6月 多機能型事業所「あおいそら」を定員20名(生活介護事業14名、自立訓練(生活訓練)事業6名)で開設する。
- 令和2年7月 ほうきぼしが豊岡から佐貫へ所在地を変更する。
- 令和3年4月 ほうきぼしが富津市より基幹相談支援センター事業を受託する。

### ケアホームCOCO

富津市湊1070-3



- COCO 富津市海良92
- MOMO 富津市豊岡3752-1
- のどか 富津市湊720-7
- 勝手の家 富津市豊岡3753-1
- ほのか 富津市湊515-6
- あけぼの荘 富津市湊467-4

### ほうきぼし

富津市佐貫255 佐貫ビル202号

- 基幹相談支援センター事業 (富津市受託事業)
- 指定相談支援事業 (一般・特定・障害児)【ケアマネジメント】
- 障害児等療育支援事業 (千葉県・千葉市受託事業)
- 富津市障害者総合支援協議会事務局 (富津市一部受託)

### ひなたホームズ

鴨川市代1297



- おくにあん 南房総市千倉町南朝夷1175
- まるあんホーム 南房総市安馬谷2262-44